



平成 23 年 9 月 5 日

各 位

O a k キャピタル株式会社
代表取締役会長兼 CEO 竹井博康
(コード番号: 3113 東証第二部)

株式会社フライトシステムコンサルティング
代表取締役社長 片山圭一朗
(コード番号: 3753 東証マザーズ)

株式会社ソフトフロント
代表取締役社長 阪口克彦
(コード番号: 2321 JASDAQ)

東京リスマチック株式会社
代表取締役社長 鈴木隆一
(コード番号: 7861 JASDAQ)

次世代向けデジタル郵便事業の開始のお知らせ

モバイル・コミュニケーションとしてスマートフォンなどモバイル端末から発信並びに郵送手配まで一貫してできるハイブリットなデジタル郵便事業を開始いたします。このデジタル郵便は普及が進むスマートフォンや携帯電話、パソコンと全国郵便網のインフラを結び利用者向けに e メールではできない想いを伝える「手紙」や「メッセージを添えたプレゼント」、「DM郵便」を送ることから、次世代向けペーパーレス郵便など、様々なメッセンジャー・サービスを提供するものです。

当事業は、O a k キャピタル株式会社（以下「O a k キャピタル」）が推進する「I T 事業プロジェクト」の一環として事業化するもので、株式会社フライトシステムコンサルティング（以下「フライトシステム」）、株式会社ソフトフロント（以下「ソフトフロント」）、東京リスマチック株式会社（以下「東京リスマ」）が中心となり、共同事業として開始されるものです。

その概要について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. デジタル郵便事業の概要（各社の役割）

デジタル郵便事業の根幹となる I T 技術面は、フライトシステム、ソフトフロント、東京リスマ各社のアプリケーション開発、ソフト開発、データ送信技術、オンデマンド印刷、クレジットカード課金システムなどの最新技術が応用されます。また、システムの基盤およびセキュリティなどは株式会社日立情報システムズの技術が活用されます。郵便配送業務は、全国 24,000 郵便局のネットワークを持つ日本郵政グループの郵便事業株式会社が行います。当事業のサービスは本年 12 月より開始いたします。

2. デジタル郵便は世界の潮流

当デジタル郵便事業は国内初のものでありますが、海外ではドイツポスト、オランダPostNLやニュージーランドポスト、カナダポスト、USポストなど先進国の郵便事業会社が既に開始しております。デジタル機能の優位性と全国ネットワークの郵便網を活かした「ハイブリッド・メール」を創り出すデジタル郵便は、これまでにない新しいモバイル・コミュニケーションとして、SNSと同様に世界中で広がりつつあります。

世界で始まったデジタル郵便は利用者に最新のIT技術を提供することにより、利用者の利便性やローコストの実現、エコロジーへの配慮が重要な使命となっています。

3. デジタル郵便の概要とサービス内容

デジタル郵便のサービスには「手紙・DM郵便配送システム」と「電子郵便配信システム」の2種類のシステム機能があり、そのポイントは以下の通りです。

- ・手紙郵送サービス（コミュニケーション・モバイル・ポスト） ～ D-POST ～
モバイル端末（デジタル）と郵便を結ぶことで「利便性」と、想いが伝わる「手紙」を可能にする

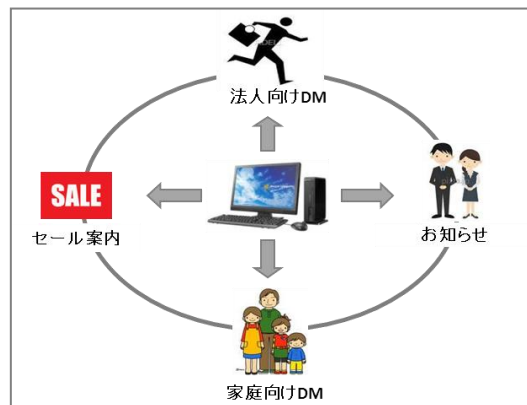
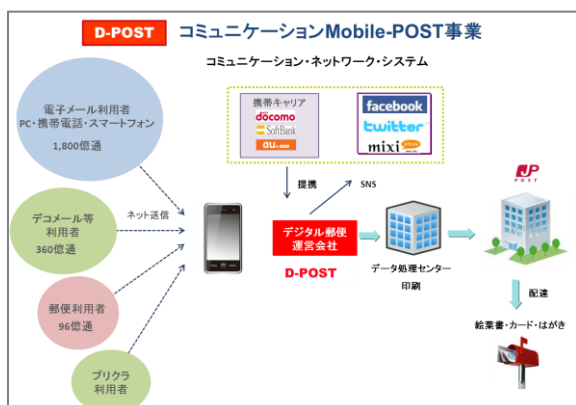
ハガキ、絵葉書、デコレーションハガキ、写真付きカードなどオーダーメイドの手紙を送り先に発信するための、アプリケーション、プリント、投函（郵送手配）までワンストップサービスを提供するもので、海外旅行先からも送れます。利用者はモバイル端末から発信できる便利さと手紙の長所を併せ持ち、今までになかった、コミュニケーションの輪が広がる新しいメッセンジャー・サービスです。

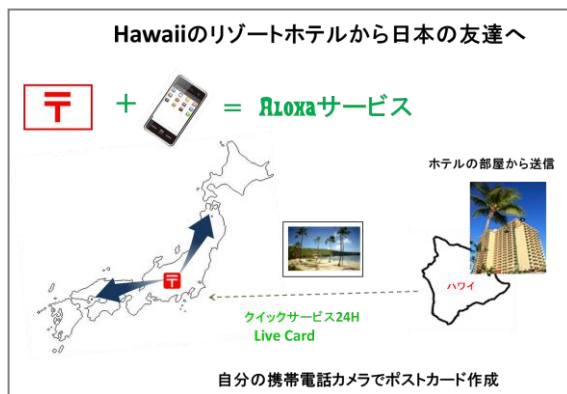
利用者はスマートフォンや携帯電話から専用アプリケーションにアクセスし、表示画面上に写真画像やデザインとメッセージを入力し送り先を指定するだけで、eメールのような手軽さで発送手配をすることができます。また、利用者にとってポスト投函の手間がなく、eメールより想いを伝えることのできる「手紙」、「旅行先からのオリジナル絵葉書」、「記念写真カード」、「楽しいデコハガキ」、「プリクラ写真」など、手紙の良さである、“残せる”メッセージを相手に送ることができます。さらに、自作のメッセージカードを添えてギフトを贈ることができるサービスも2012年から予定しております。

- ・DM発送サービス（現在、国内でのDM市場は年間60～70億通）

小規模の事業法人や小売店、レストラン、ブティックなどがリアルタイムで「お客様向けのダイレクトメール」を利用できるサービスです。パソコンから各種案内カードを文章入力とデザインするだけで済み、必要な枚数分と発送まで手間がかからないワンストップサービスで郵送ができます。

例えば「子供の会」の案内状20枚でも可能です。きれいな印刷で、オリジナルデザインで、パソコンから送り先に届けます。届いた「案内状」は当日までデスクに張り付けば忘れません。eメールより想いが伝わり、出席率もアップします。





利用者はアプリを使用

Ｅメールから手紙で想いを残す

電子メール
利用者

プリクラをフォトカードで贈る

プリクラ
利用者

デコハガキで楽しい知らせ

デコメール他
利用者

ネットから便利に手紙を送る

郵便
利用者



- ・ 電子郵便配信システム（ビジネス・モバイル・ポスト） ～ E-POST ～
ペーパーレス郵便（エコロジー）と従来型郵便の選択機能を持つ次世代郵便機能

ペーパーレスを志向する時代のニーズを満たす電子配信サービスです。特にこの法人向けサービスは、デジタル郵便事業における世界的な潮流となっています。登録された「ポストナンバー」(*注)でセキュリティ保護された電子手紙のやりとりを利用者同士で行うことができるサービスです。法人の利用者はこのシステムを使いユーザー宛てに利用料金の通知や定期的なお知らせを送ることができます。受け手側はモバイル端末という便利なツールを使用しながらも、機密性の高い文書を電子「私書箱」で安全に受信と管理ができます。

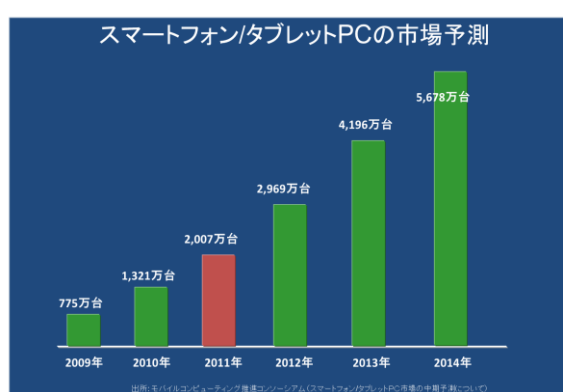
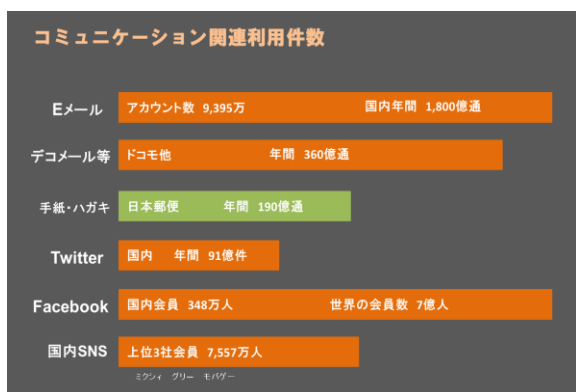
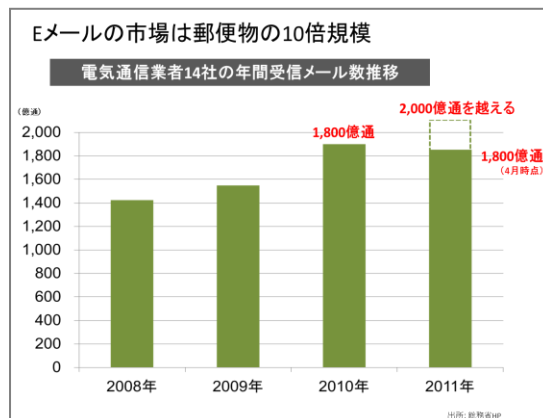
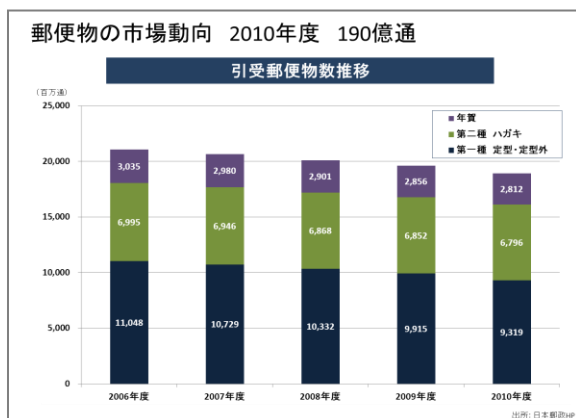
*注) ポストナンバーとは生涯変更せずに使用できる電子私書箱のアドレス



4. 郵便事業の市場環境と成長するモバイル・コミュニケーション

eメールの普及に伴い年間引受郵便物数は減少傾向にあり、日本郵便の2010年度引受郵便物が約190億通であった一方で、eメールの年間受信件数は年々増加しており、2011年度は2,000億通を超えることが予想されております。このような環境のもと、今後の方向性として、郵便は情報通信技術を併用活用することにより、利用者にとって利便性が高まると考えております。

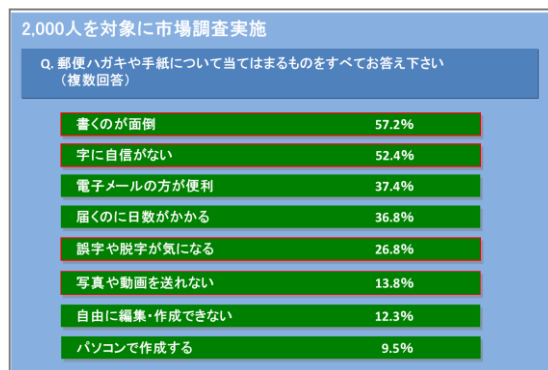
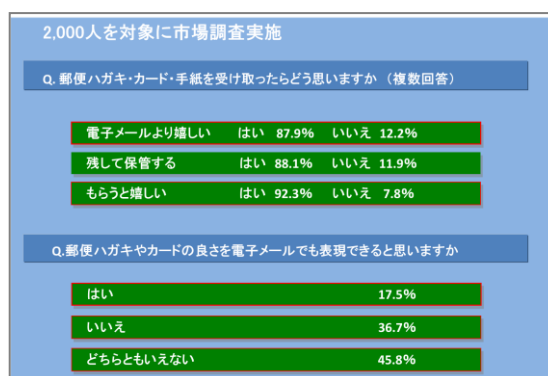
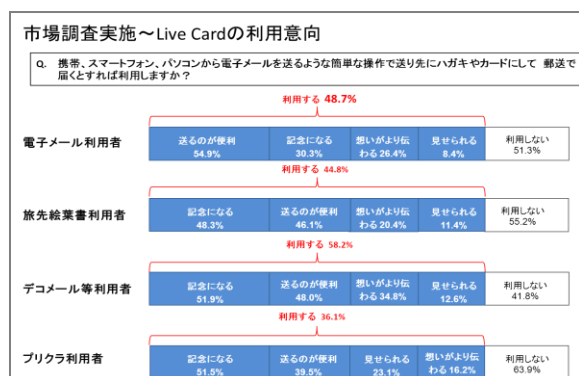
デジタル郵便事業は、そのような時代の要請に応えるサービスを提供するものとして、広く利用されるものと期待しております。



5. 当事業の利用に関する市場調査の結果

2,000人を対象に実施した市場調査では、現在のeメール（年間2,000億通）、デコレーションメール利用者（年間360億通）の半数近くが携帯電話などモバイルから郵便手紙を発送できるサービスがあれば利用したいと回答しています。

当サービスに高い関心を持つ潜在利用者のうち、実際に当サービスを利用する潜在需要件数は年間20億通～30億通の需要があると予測しております。



6. デジタル郵便事業における利用料金等に関して

・手紙・DM郵便配送システム（コミュニケーション・モバイル・ポスト）

スマートフォン等から発信する「手紙」「デコはがき」「プリクラはがき」「DM郵便」などのメッセージ・サービスのユーザーは、携帯電話やパソコン保有者で日頃から、eメール（年間2,000億通）、やデコレーションメール（同360億通）を利用している人や郵便利用者（同190億通）、プリクラ利用者が対象となります。市場調査では約2人に1人が潜在利用者となっています。

当該事業では市場予測として20億通～30億通をもとに現在、計画を策定中ですが、料金設定につきましては、今後決定いたします。なお、一般的には市販の「絵葉書」は100円～150円で、これに加え送料として郵便切手代50円が掛かりますが、デジタル郵便で送るオリジナル絵葉書の送料を含めた料金は、現在の市価の30%～50%程度、安くなる予定です。

・電子郵便配信システム（ビジネス・モバイル・ポスト） — 法人向けペーパーレス郵便

従来のコスト（用紙・印刷代、切手等の送料）と比較して半減する予定です。

次世代の電子郵便にはペーパーレス化のための専用ソフトが必要になりますが、当計画では基本的にソフトの使用は無料とし、送信料のみとすることで、小規模な法人利用者が手軽に利用できるよう計画しております。

7. デジタル郵便事業のIT技術開発企業

社 名	提供する技術等
・(株)フライトシステムコンサルティング (東証 M 3753)	端末用アプリケーションソフト クレジットカード課金システム
・(株)ソフトフロント (JQ 2321)	情報通信制御ソフト
・東京リスマチック(株) (JQ 7861)	3Dコンテンツ制作 デジタル・オンデマンド印刷
・(株)日立情報システムズ (非上場)	システム基盤構築 セキュリティシステム

8. Oakキャピタル(株)との資本関係

社 名	Oakキャピタル持分比率 (*注)
・(株)フライトシステムコンサルティング	66.99%
・(株)ソフトフロント	5.85%
・東京リスマチック(株)	6.59%

*注) 大量保有報告書直近提出日現在；潜在株式を含む

9. サービス開始予定時期

手紙郵送サービス：2011年12月より DM発送サービス：2012年1月より
電子郵便配信システム：2012年春より

(本件についてのお問い合わせ先)

Oakキャピタル(株)	広報・IR室長	桐村 康司	TEL：03-5412-7700
(株)フライトシステム	代表取締役副社長	松本 隆男	TEL：03-3440-6100
		金 (こん) 浩樹	
(株)ソフトフロント	取締役 財務・管理統括担当	佐藤 健太郎	TEL：03-3568-7007
東京リスマチック(株)	管理本部長	菊地 克二	TEL：03-3891-7455

以 上